



⑭アカトンボの種類を調べよう

The Search for Red-Dragonflies

—昆虫調査プログラム—

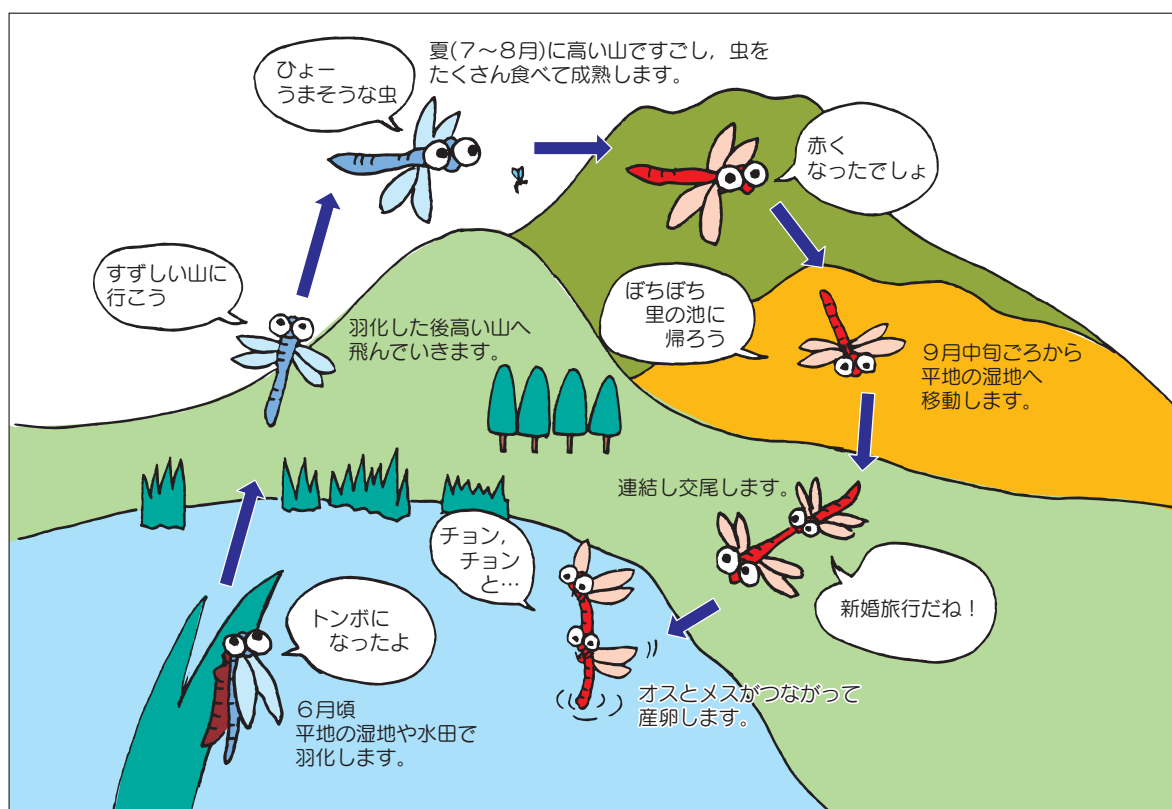
この活動のねらい

夏が過ぎるころ、まっ赤に成熟したアカトンボのなかまの種類を調べたり、トンボが集まる環境づくりをしたりして、夏から秋にかけての自然に親しんでみましょう。

調べる生きものについて

アカトンボは、トンボの種類のうち腹部が赤色、だいたい色、黄色などのものをまとめた言い方で、アカトンボという名前のトンボはいません。代表的なものはアキアカネ、ナツアカネ、ミヤマアカネなどで、トンボ科アカネ属に属するトンボです。

アキアカネは、平地の^{しっち}湿地や水田で6月頃羽化し、山に登ります。夏の間は山の上ですごし、秋風の立つころ、体色も赤くなって里に下りてきます。交尾・産卵^{こうび}して晩秋に姿を消しますが、卵で越冬^{えっとう}、田んぼに水がたまるとふ化し、初夏に羽化します。アキアカネは、田んぼの四季の変化に最も対応しているトンボといえるでしょう。



調べ方

準備するもの

・ 昆虫網^{こんちゅうあみ}

・ 虫かご

・ 記録用紙



1 採集する。

昆虫網でアカトンボを採集します。つかまえた虫が逃げないように、網を反転させるのがコツです。

2 種類を調べる。

検索表を用いて種類を調べます。翅端の帯と、胸の黒い模様で種類を調べることができます。

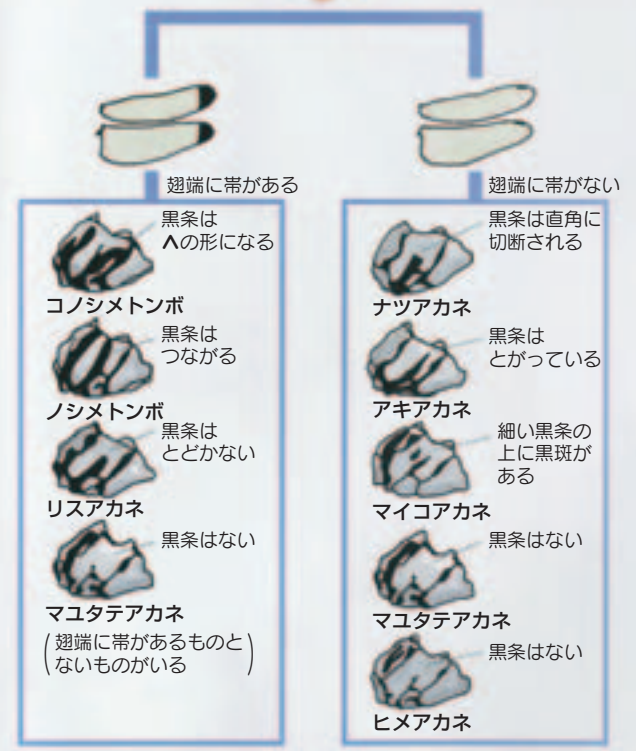
データのまとめ方

採集したアカトンボの種類、個体数を調べ、他の地域と比較します。

採集地	種類	個体数
博物館	ノシメトンボ	多数
	アキアカネ	5
	ナツアカネ	3
筑波山	アキアカネ	多数
	ナツアカネ	8
	ノシメトンボ	5
	マイコアカネ	1

絵とき検索●アカトンボ

アカトンボの模式図
(横からみたところ)



菅生沼周辺のアカトンボ

ナツアカネ、アキアカネ、マイコアカネ、マユタテアカネ、ノシメトンボが観察されています。

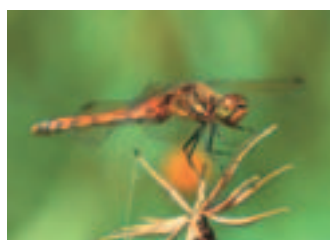
最も簡単に観察できるのは、羽の先（翅端^{したん}）に帯があるノシメトンボです。動作が鈍い^{にぶ}トンボなので、そっと指をかざすと、指先にとまることもあります。夏に屋敷林内で観察することもできます。

ナツアカネは、アキアカネのように集団で遠方へ移動したり、山へ登ったりしません。秋の気配が色濃くなるころ、田んぼのまわりや、公園の池にあらわれます。

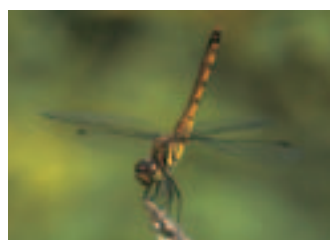
アキアカネが平地の水田地域で多くみられるのは、広々とした開放空間を好み、ごく浅い水域を選んで産卵するという特性をもつからです。



ノシメトンボ



アキアカネ



ナツアカネ



マユタテアカネ

● トンボ池をつくろう ●

池の作り方

① コンテナトンボの池

市販されているプラスチックやポリエチレン製のタンクや人工池（水面：50cm×50cm以上，深さ：30cm以上）に田んぼの土を10cmほど敷き，セリやカキツバタ，ヒメスイレンなどを植えます。そして，水の深さは15cmほどにします。

② 学校プール

学校のプールは，夏期以外利用されていないので，トンボが生息する格好の場です。イトトンボのなかまやシオカラトンボなど羽化時期が夏のプール利用と重なっているトンボは，プール利用前の清掃の時期を少し遅らせたり，稲わらなどを入れて羽化する場所を確保したりします。

③ 庭の池

池の大きさは1平方メートル以上，防水シートで簡易防水し，田んぼの土を20～50cmの厚さに敷き水草を植えます。そして，水の深さは10～30cmと比較的浅くし，水面の水草が茂りすぎない（植被率が60%以下）ように定期的に草取りをします。

● 観察方法，データのまとめ方 ●

1 定期的に観察しましょう。

トンボの池をつくったら，定期的に中のようすを観察します。トンボが飛来しているかどうか，ヤゴの成長のようすなどを記録します。

2 種類を調べましょう。

検索表のある図鑑を用いて種類を調べます。種類を見分けるのは難しいので，イトトンボのなかまであるかトンボのなかまであるか調べるだけでもよいでしょう。個体数を，いろいろな地域で比べるとおもしろいです。

3 羽化のようすを観察しましょう。

羽化直前のヤゴを，羽化するための棒を入れた水そうに入れておけば，羽化が観察できます。トンボが翅を伸ばす空間を十分に確保することが大切です。

参考となる資料

井上清・谷幸三．1999．トンボのすべて．トンボ出版．

石田昇三・小島圭三・石田勝義・杉村光俊．1988．日本産トンボ幼虫・成虫検索図説．東海大学出版会．

久松正樹・鈴木成美．1998．菅生沼周辺の昆虫相．茨城県自然博物館研究報告，(1)：119-139．

杉村光俊・石田昇三・小島圭三・石田勝義・青木典司．1999．原色日本トンボ幼虫・成虫大図鑑．北海道大学図書刊行会．

杉村光俊・一井弘行．1990．トンボ王国へようこそ．岩波ジュニア新書．

【久松】



● 平地で見られるトンボ ●



アジアイトトンボ



ウチワヤンマ



オニヤンマ



コシアキトンボ



シオカラトンボ



ホソミオツネントンボ



ギンヤンマ



ウスバキトンボ



ハグロトンボ



ヒガシカワトンボ